

まちづくり市民活動団体を支援します

まちセンでは、お住まいの地域周辺の防災、緑化活動、自然保護、交通安全対策など市民主体のまちづくり活動に取り組む団体の支援をしています。

支援の対象となる団体は、市民5人以上で組織した次のまちづくり活動を継続的に取り組むグループです。

- ① 地域の生活環境に影響のある、まちづくり課題の解決を図るための市民活動。
- ② 自然の保全回復を図るための市民活動。
- ③ その他、まちセンが必要と認めたまちづくり市民活動。

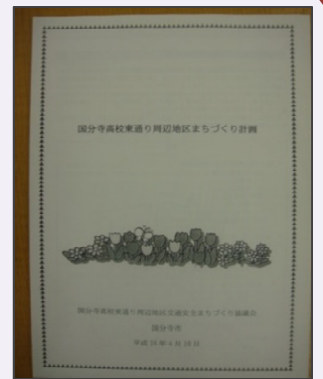
支援の内容は、①物的支援（団体の活動に要する資材・印刷製本にかかる物品の提供）②人的支援（団体の活動を円滑に推進するためのスタッフの派遣）③専門的支援（講習会・研究会等へ講師等の派遣）です。

支援を希望される団体は、まちセンにご相談ください。

なお、市では、まちづくり条例に基づき、市民などで構成されるまちづくり協議会や、開発事業に係る近隣住民および周辺住民、市街地開発事業などを行おうとするかたに、市から都市計画や建築などの専門知識を有する人（コンサルタント）を派遣し、市民の自主的なまちづくり活動を支援する制度を設けています。これまで活発な活動をされている主な支援団体を下記にご紹介します。

国分寺高校東通り周辺地区交通安全まちづくり協議会

新町三丁目交差点から富士本二丁目交差点の区間で、幅員が約3.6m、距離約600mの、北から南への狭い一方通行路で、生活道路であるにもかかわらず通過車両が多い国分寺高校東通り（市道幹13号線）の安全対策を中心にその周辺における安全な住宅地の実現を目的として発足した団体です。協議会が提案した「地区まちづくり計画（原案）」を基に、市民提案により策定する地区まちづくり計画の第1号となる「国分寺高校東通り周辺地区まちづくり計画」が策定されました。現在は、「地区まちづくり計画」の実現に向けて勉強会などを行っています。



ミズモリ団

市内の長老から聞き取りした昔の国分寺のすがたと往時がしのばれる遺構を調査・整理・まとめる活動をしている団体です。市内で唯一多摩川の水が流れる砂川用水の常時通水を目指し美化活動を月3回程度実施し、親水公園・用水が子どもの遊べる場所になるよう活動しています。



防災まちづくり27会

「第27回市民防災まちづくり学校」を修了した有志を中心に結成された会です。災害に強く安全で住みよいまちづくりを推進することを目的に、防災に関する勉強会や見学会を年に4～5回開催、情報交換、経験交流を行っています。

内藤・日吉地域連合防災会

平成9年から、地域の市民防災推進委員会を中心に、自主防災組織として「防災・炊き出し訓練」や「地域防災学習会」、「井戸端会議」などを実施してきた会です。本年度からは、地域内の自治会と一体となり、市と協働し自主防災体制の強化を目指しています。このほど、「防災まちづくり推進地区」に指定されました。